

函館工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	農業経済入門	
科目基礎情報							
科目番号	0398		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	物質環境工学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	農業経済学 第4版 荏開津典生・鈴木宜弘 (岩波書店)						
担当教員	松永 智子						
到達目標							
農業経済に関する基本的な知識（経済・食糧・構造）を持ち、農業に存在する社会的な問題についてその一部または概略を他者に正しく伝えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	経済に関する基礎的な知識を習得し、農業と関連付けて説明することができる。		農業経済に関する用語等の基礎的な知識を習得している。		農業経済に関する用語等の基礎的な知識を習得できていない。		
評価項目2	国内外における食料問題を認識し、日本を取り巻く状況を、例を挙げて説明することができる。		国内外における食料問題を認識し、それに関わる基本的な知識を習得している。		食料問題について理解できていない。		
評価項目3	農業の構造問題について基本的な知識を持ち、存在するいくつかの問題について説明することができる。		農業の構造問題について基本的な知識を習得している。		農業の構造問題についての基本的な知識が習得できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 (B-3) 函館高専教育目標 B							
教育方法等							
概要	先進諸国の中でも極めて低い食糧自給率の日本における農業問題の歴史的变化を食糧問題、構造問題、農村問題の3側面から理解できるようにする。さらには農業政策、土地課題、環境問題などについて農業経済の体系として概説するとともに、時事的な諸問題についても自分で考えられる力を養うことを目標とする。						
授業の進め方・方法	講義は教科書を読んできたことを前提に進めます。復習はもちろん予習もしっかり行ってください。また、理解を深めるために、普段から農業全般（経済・食糧・環境等）に関して広く関心を持つように心がけてください。						
注意点	JABEE教育到達目標評価：定期試験100%（B-3:100%）						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	経済学について		農業の視点から経済学とは何かということに目を向ける		
		2週	経済発展と農業		食料需要の所得弾力性について理解できる		
		3週	需要と供給		食料需要の価格弾力性と農産物の作況変動について理解できる		
		4週	農業生産と土地		BC過程およびM過程それぞれの側面から農業生産と土地の関係について理解する		
		5週	農業の経営組織		国内の農業経営組織について理解する		
		6週	農産物の市場組織		農業協同組合および農産物価格政策が農産物市場に与えている影響を説明できる		
		7週	農産物貿易		農産物貿易と農業政策との関係について基礎的な知識を得る		
	8週	中間試験					
	4thQ	9週	世界の人口と食料問題		世界の人口と食料生産および食料の分配について現状を理解する		
		10週	フードシステム		食生活の成熟とフードシステムについて理解する		
		11週	農業の近代化		農業の近代化がもたらす影響について理解する		
		12週	農業と環境		資源・環境の面から農業生産の持続性を考える		
		13週	日本の農業		日本の農業と食料をめぐる現在までの流れと現状を理解する		
		14週	これからの農業		これからの農業について自らの考える展望を述べることができる		
		15週	答案返却・解答解説		・間違った箇所を理解できる。		
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験						合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	0	30
専門的能力	70	0	0	0	0	0	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0